



## 2025年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2025年2月3日

上場会社名 日本ラッド株式会社

上場取引所 東

コード番号 4736 URL <https://www.nippon-rad.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 大塚 隆之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画室長 (氏名) 土山 剛

TEL 03-5574-7800

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	3,060	5.9	160	12.8	231	3.1	152	24.0
2024年3月期第3四半期	2,890	14.9	184	7,079.5	238	325.2	200	316.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	28.92	
2024年3月期第3四半期	38.52	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	4,562	3,134	68.7	592.84
2024年3月期	4,295	2,926	68.1	562.21

(参考)自己資本 2025年3月期第3四半期 3,134百万円 2024年3月期 2,926百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		5.00		5.00	10.00
2025年3月期		0.00			
2025年3月期(予想)				10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,250	6.7	210	21.2	281	12.7	356	8.6	67.53

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(2025年2月3日)公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P8「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	5,355,390 株	2024年3月期	5,355,390 株
期末自己株式数	2025年3月期3Q	68,522 株	2024年3月期	150,722 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	5,271,852 株	2024年3月期3Q	5,204,684 株

添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社としてお約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、引き続き世界情勢や円安に起因するコスト増からのインフレ傾向が継続する中、引き続き人件費増とIT業界を含む多くの業態において人材調達難が続いている状況です。

このような状況の中、当社は5月に発表した新体制の方向性を示す3カ年の中期経営計画の遂行、特に同計画における人からプロダクトアセットベースへの収益構造の転換を図っていくことを重点に、当期においての方針として各セグメントでのサービス掘り下げと統合プラットフォーム構想を推進、DXソリューションでのkintoneノウハウ部門の取り込みが進行する中、IoTとERPノウハウを融合したソリューションスイート提案機会も増えてきております。また、大手企業におけるレガシーシステム継承・刷新へのAIソリューション「JANUS Studio®」や、エッジAIソリューションに重点を置いたAIDプロジェクトでの多様な現場からのAIニーズを丁寧を受けて具現化していく方向性が広がっており、更なるエッジAIプロダクト、AIソリューションの開発、プロモーション展開を更に進める中、新規引き合い・商品ラインアップの拡充とも順調に展開しております。当社の特徴である幅広い業種・業態へのリーチが可能な点を活かした複合・重層的AI化・導入提案は変わらず最重点分野であり、生成型AIの実務適用提案など最先端AI技術の応用と更なる開発投資及び実案件拡大に注力しながらAI事業領域の拡大を図って参ります。

この結果、当社の当第3四半期累計期間の売上高は、30億60百万円（前年同四半期比5.9%増）となりました。損益につきましては、営業利益1億60百万円（前年同四半期比12.8%減）、経常利益2億31百万円（前年同四半期比3.1%減）、四半期純利益1億52百万円（前年同四半期比24.0%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### 「エンタープライズソリューション事業」

ソフトウェア面での顧客の競争力強化ニーズは引き続き非常に強く、各業種向けの派遣常駐型システム開発及び受託請負型システム開発案件においては、既存大型顧客からの増員要望や開発案件の増加が継続し受注増となりました。BI事業におきましては、強力な経営管理プラットフォームCCH Tagetikのパートナー開発が安定的に軌道にのり、順調に推移しております。その結果、売上高は18億円（前年同期比0.9%増）となりました。

#### 「IoTインテグレーション事業」

インダストリアルIoT分野及び医療IoT分野においては、既存顧客及び新規顧客共に受注が増加いたしました。DX事業本部としてのインダストリアルIoT展開については、当社オリジナルプラットフォームサービス同士を組み合わせ基幹システムと連携した生産管理ソリューションが、導入の早さや利便性の高さと引き合い数が急増、既存顧客からの継続受注も安定して増加しており、顧客満足度の高さを実感しております。また、医療機関向け自動再来受付・呼び出しシステム等の販売・開発につきましても大口顧客からの大幅な受注増となりました。エンベデッド事業においても、自動車搭載セキュリティシステムのロイヤリティ収入や船舶搭載用ソリューションが引き続き安定した成長をみせております。映像情報システム関連については、前年同期を下回りつつも、期中での大口顧客の獲得など、予算比で向上いたしました。その結果、売上高は12億60百万円（前年同期比13.9%増）となりました。

### （2）当四半期の財政状態の概況

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### （資産）

当第3四半期会計期間末における流動資産は31億72百万円となり、前事業年度末に比べ14百万円減少いたしました。これは主に製品が8百万円、仕掛品が17百万円、原材料が7百万円増加した一方で、現金及び預金が31百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が19百万円減少したことによるものです。固定資産は13億90百万円となり、前事業年度末に比べて2億81百万円増加いたしました。これは主に、本社移転に伴い有形固定資産において建物が1億93百万円、工具器具備品が38百万円増加したことによるものであります。また、投資その他の資産では、投資有価証券が33百万円増加しました。

この結果、総資産は45億62百万円となり、前事業年度末に比べ2億66百万円増加いたしました。

##### （負債）

当第3四半期会計期間末における流動負債は7億77百万円となり、前事業年度末に比べ9百万円増加いたしました。これは主に、買掛金が20百万円、その他が95百万円増加しましたが、賞与引当金が98百万円減少したことによるものです。固定負債は6億51百万円となり、前事業年度末に比べ48百万円増加いたしました。これは主に資産除去債務が56百万円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は14億28百万円となり、前事業年度末に比べ58百万円増加いたしました。

## (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は31億34百万円となり、前事業年度末に比べ2億8百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益の計上及び配当金の支払いにより利益剰余金が1億26百万円増加し、譲渡制限付株式報酬として自己株式を処分したことにより自己株式が39百万円減少、その他有価証券評価差額金が20百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は68.7%（前事業年度末は68.1%）となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較して31百万円減少し、22億22百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、1億69百万円(前年同期比10.0%増)となりました。これは主に税引前四半期純利益2億27百万円、減価償却費の計上50百万円、受取利息及び受取配当金の受取額65百万円、賞与引当金の減少98百万円、法人税等の支払額72百万円によるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1億75百万円(前年同期比108.6%増)となりました。これは主に本社移転に伴う有形固定資産の取得による支出1億36百万円、無形固定資産の取得による支出38百万円によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用された資金は、25百万円(前年同期比82.5%減)となりました。これは主に配当金の支払いによる支出25百万円によるものです。

## (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2024年5月13日の決算短信で発表しました通期業績予想から変更をしております。詳細につきましては本日(2025年2月3日)公表しました「業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,254,879	2,222,904
受取手形、売掛金及び契約資産	762,535	742,947
製品	3,596	12,271
仕掛品	7,630	24,807
原材料	66,131	73,941
その他	92,571	95,941
貸倒引当金	△140	△99
流動資産合計	3,187,205	3,172,714
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	9,602	203,083
車両運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品（純額）	20,641	58,694
建設仮勘定	7,000	—
有形固定資産合計	37,243	261,777
無形固定資産		
ソフトウェア	89,448	65,818
その他	12,055	39,800
無形固定資産合計	101,503	105,618
投資その他の資産		
投資有価証券	467,852	501,399
長期預金	200,000	200,000
その他	407,555	430,542
貸倒引当金	△105,387	△109,181
投資その他の資産合計	970,020	1,022,760
固定資産合計	1,108,767	1,390,157
資産合計	4,295,972	4,562,872
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	151,055	171,263
未払法人税等	52,844	46,475
賞与引当金	201,360	102,711
受注損失引当金	1,030	—
その他	361,283	457,116
流動負債合計	767,574	777,568
固定負債		
退職給付引当金	594,488	587,923
資産除去債務	2,077	58,104
長期末払金	3,588	3,588
その他	2,127	1,429
固定負債合計	602,281	651,045
負債合計	1,369,855	1,428,614

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,239,480	1,239,480
資本剰余金	973,222	994,398
利益剰余金	717,591	844,014
自己株式	△71,315	△31,725
株主資本合計	2,858,978	3,046,167
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	67,138	88,090
評価・換算差額等合計	67,138	88,090
純資産合計	2,926,117	3,134,257
負債純資産合計	4,295,972	4,562,872

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	2,890,474	3,060,831
売上原価	2,211,250	2,285,130
売上総利益	679,223	775,700
販売費及び一般管理費	494,942	614,944
営業利益	184,280	160,756
営業外収益		
受取利息	286	2,240
受取配当金	51,654	64,019
その他	3,917	5,182
営業外収益合計	55,858	71,442
営業外費用		
支払利息	273	45
株式報酬費用消滅損	—	924
支払手数料	1,119	—
その他	120	—
営業外費用合計	1,513	969
経常利益	238,625	231,229
特別損失		
固定資産除却損	17	0
事務所移転費用	—	3,738
特別損失合計	17	3,738
税引前四半期純利益	238,608	227,491
法人税等	38,118	75,045
四半期純利益	200,490	152,445



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	238,608	227,491
減価償却費	37,919	50,988
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	28,059	△6,564
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△54,880	△98,648
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△181	△182
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	24	△1,030
株式報酬費用	—	13,409
受取利息及び受取配当金	△51,940	△66,259
支払利息	273	45
為替差損益 (△は益)	△0	△0
有形固定資産除却損	17	0
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	68,481	19,548
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△59,171	△33,662
仕入債務の増減額 (△は減少)	△10,145	11,922
その他	135,505	59,499
小計	332,567	176,556
利息及び配当金の受取額	51,939	65,570
利息の支払額	△237	△45
役員退職慰労金の支払額	△197,226	—
法人税等の支払額	△32,790	△72,386
営業活動によるキャッシュ・フロー	154,252	169,695
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△9,840	△136,525
無形固定資産の取得による支出	△27,462	△38,700
出資金の回収による収入	30	—
差入保証金の差入による支出	—	△280
貸付けによる支出	△46,180	△1,200
貸付金の回収による収入	1,072	2,741
その他	△1,949	△1,950
投資活動によるキャッシュ・フロー	△84,330	△175,915
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△100,000	—
自己株式の取得による支出	△45	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△667	△682
配当金の支払額	△46,505	△25,073
財務活動によるキャッシュ・フロー	△147,218	△25,755
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△77,295	△31,975
現金及び現金同等物の期首残高	2,488,736	2,254,879
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,411,440	2,222,904

## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	エンタープライズソ リューション事業	IoTインテグレーシ ョン事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,784,102	1,106,371	2,890,474	—	2,890,474
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,443	256	12,699	△12,699	—
計	1,796,545	1,106,627	2,903,173	△12,699	2,890,474
セグメント利益	296,394	210,562	506,957	△322,676	184,280

(注) 1. セグメント利益の調整額△322,676千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	エンタープライズソ リューション事業	IoTインテグレーシ ョン事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,800,794	1,260,037	3,060,831	—	3,060,831
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,323	1,270	9,593	△9,593	—
計	1,809,117	1,261,307	3,070,425	△9,593	3,060,831
セグメント利益	299,840	251,572	551,412	△390,655	160,756

(注) 1. セグメント利益の調整額△390,655千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年2月5日開催の取締役会決議に基づき、2024年5月24日に従業員に対する譲渡制限付株式報酬として自己株式83,700株の処分を行いました。この結果、当第3四半期累計期間において自己株式処分差益が21,176千円発生するとともに自己株式が39,590千円減少し、当第3四半期会計期間末において資本剰余金が994,398千円、自己株式が31,725千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。